

また、工事の安全を祈願して地鎮祭を行いました。



■安全管理

泉中央公園は以下のような特性があります。

1. 中和田小学校に通う子供たちの通学路になっていること
2. 近隣の保育園・幼稚園が遊具広場を利用していること。
3. 公園内に自治会が利用している集会所があること。

上記のような動線を工事の為に一斉に閉鎖することができないため、最初に工事の区画整理から開始しました。





搬入経路が小学校・幼稚園の通学路になっていることから、搬入経路図を作成し、経路には車両がスピードを出さないように看板を設置しました。



当該工事は当社だけでなく、泉土木事務所発注の公園維持管理業者と、複数の業者で場内を共有することになるため、当現場の安全管理のとりまとめを行いました。実施していた内容としては以下の通りです。

1. 朝の全体朝礼では、各エリアごとの当日作業内容、危険ポイント、隣接作業等の確認
2. 毎日 13 時からの職長ミーティングにて、翌日作業の調整と週間工程などの説明
3. 周辺道路への環境対策として、路面清掃やバリケードフェンス外周の落葉清掃



■施工管理

作成した工程、工区割り図を協力業者に周知し、作業間調整を行いながら、スムーズな施工を行いました。



週間工程

公園に車両が入り出りできる入口が一箇所しかなく、また前面道路が狭く、小学校から公園につながるT字路を大型車両が曲がれないため、一時的に小学校の校庭を利用させていただきました。



■現場管理

当初あやめ池の撤去に関して、防水シートの撤去、埋戻し土の改良が含まれていなかったため、池を約 1.5m 埋戻した後に、沈下のおそれが懸念されました。発注者の公園緑地整備課、泉土木事務所と協議を行い、セメント改良を行うこととしました。周辺環境を考慮し、使用する改良材はテフロン処理防塵型とし、飛散防止に努めました。なお、数十年後の再整備工事を踏まえ、固化しすぎないように CBR 値の試験を実施し管理を行ないました。



公園の車側の道路が幅量 4m未満の狭い道路だったため、公園工事に伴い、泉土木事務所から工事期間中に道路の拡幅の依頼を受けました。そのため、当初予定していた伐採・抜根作業を泉土木事務所発注の公園維持管理業者に行ってもらい、土留めのセットバック・道路の舗装工事を行いました。



また、セットバック箇所には、歴史文化資材である土塁があるため、事前に教育委員会立ち合いのもと試掘を行いました。



道路後退に関して、横浜市が公園土地の一部を地権者から借り受けていたため、地権者に対しても了解を得るためにお伺いしました。土留めを行う後退ラインに関しては、地元の測量業者に位置を出してもらいました。



【小次郎池の浚渫】

水位測定状況



池底の確認状況
(池底粘土)



景石高圧洗浄状況



五輪塔の一部らしきものが、階段下から見つかる



周囲の柵、U字溝の管清掃



工 事 名	泉中央公園再整備工事
工 期	自:平成 27 年 10 月 21 日 ~ 至:平成 28 年 3 月 31 日
発 注 局	横浜市環境創造局 公園緑地部 公園緑地整備課